

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催月日	令和5年 8月 3日 (木) 18時30分～19時00分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	寺本 信先生	事務局	総合支援センター：兼子 大宮
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 寺本 信 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 佐々木 泉顕 (弁護士法人 佐々木総合法律事務所) 松根 龍一郎 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 向 俊孝 (札幌市民政委員児童委員協議会 理事) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 長 和俊 (JCHO 北海道病院 副院長兼周産期医療センター長) 長井 桂 (JCHO 北海道病院 統括診療部長) 檜舘 和則 (JCHO 北海道病院 事務部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック 院長) 中西 香織 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 〔当病院職員〕 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院副院長兼総合支援センター長)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 1) 一日平均患者数の推移 外来患者は増加傾向。 5月より感染対策に留意しながら家族面会を再開している。 2) 紹介患者数・紹介率、逆紹介患者数・逆紹介率の推移 紹介率・逆紹介率ともに地域医療支援病院の要件は維持できている。 3) 月別手術・内視鏡・分娩件数 内視鏡、分娩件数は昨年度比で増加傾向。 寺本委員長より、アフターコロナにおける分娩数の傾向について質問。 古家院長より、本年度 KKR 札幌医療センターとの地域医療構想による棲み分けで分娩増加傾向。積極的に母体搬送受け入れを実施していく方針。 4) 共同利用 昨年度は CT 利用が多かった。枠の活用を案内していく。 2. 地域講演会開催実績/病院公式 SNS 投稿実績 コロナ禍を経てオンライン開催の研修が多くハイブリッド開催も主流。		

6月中の島民生委員定例会に当院 MSW が参加し、頼れる方が身近に居ない場合の備えに関する取り組みや背景を説明した。

向委員より、民生委員は手続き等理解できたと好評であった。

3. その他

1) 電子カルテ更新について

古家院長より、現在電子カルテシステム更新準備中であること報告。

2024年1月9日より新システムで稼働開始予定。

年末年始を挟むため、地域住民や連携機関に支障がないよう取り組む。

2) 70周年記念式典

古家院長より、8月26日(土)記念式典の演題2題決定。

祝賀会の演奏会など調整中。

3) 不整脈治療について

古家院長より、今年度不整脈専門医が着任し循環器内科医が3名体制になった。8月よりカテーテル心筋焼灼術を開始する。

寺本委員長より、健診で指摘があった方も紹介して良いかと質問。

古家院長 気軽に相談してほしい。

4) 周産期医療センターについて

長副院長より、周産期医療センターについて説明。

和痛分娩を開始。麻酔科の協力を得ながら取り組み好評。

少しずつ拡大していく。

KKR 札幌医療センターとの機能再編により助産師・産科研修医の交流を始めている。小児科医の交流もこれから取り組む。

NICU 増床、帝王切開専用の陰陽圧可変 OP 室の設置など、改修工事を進めている。来年6月頃にフルオープン予定。

次回開催 令和5年11月2日 18:30 予定